

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生・専門課程	美容科2年制	夜・通信	2010	160	
	ビューティビジネス科2年制	夜・通信	2034	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nrbg.ac.jp/activity.html #高等教育修学支援情報公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.nrbg.ac.jp/activity.html> #高等教育修学支援情報公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元金融機関業務監査部 部長	R3.4.1 ~ R6.3.31	事業計画の相談指 導
非常勤	美容室代表取締役	R3.4.1 ~ R6.3.31	事業計画の相談指 導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○シラバスの作成過程(プロセス)</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会にてシラバスに記載すべく項目について検討。 ・教育課程編成委員会にて校長を委員長とし、シラバス記載項目を説明。 ・教育課程編成委員会にてシラバス一式を確認。 ・教育課程編成委員会での、授業科目と授業方法の改善について策定。 ・上記を経て教育課程の編成に反映させ、教育方針に合わせて年度のカリキュラム・シラバスに反映させる。 ・教育課程編成委員会で委員長がシラバス作成の作成依頼を委員長の合意を経て、教務主任が全教員にシラバス作成を依頼。 ・全教員が教務主任にシラバスを提出。 ・教務主任がシラバスを点検して、校長に報告、記載事項に不備のあるシラバスの再提出を教務主任が依頼。 ・該当職員が教務主任に再提出。 ・教育課程編成委員がシラバスを再点検。 <p>○シラバス作成時期 令和3年1月7日～令和3年3月20日まで</p> <p>○シラバス公表時期 令和3年4月1日</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○成績に関する評価及び認定に関する規定は次の通り

・長野理容美容専門学校学則第2章第8条に教育課程時間時数について記載

・長野理容美容専門学校学則第7章 卒業の認定及び卒業について記載

・長野理容美容専門学校基本情報基準3または長野理容美容専門学校学則学生指導内規 進級・卒業の要件【学習成績の評価】【学期末試験】【評価の表示】【欠席日数の基準】【進級及び卒業の認定】について記載。

・長野理容美容専門学校基本情報基準3 取得を目指す資格・検定【卒業証書称号の授与】について記載。

以上のようにそれぞれの規定などについて記載されており、各学年の学修成果にあらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に履修認定を実施している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・本校の成績評価に関しては、担当教員は授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ、明示して客観的な成績評価に努めている。生徒には生徒便覧にて周知し、HP上でも公表している。

学修成果の評価と進級、卒業認定基準

【学習成績の評価】

①学習成績の評価は、学期末試験の成績を主に平素の学習態度及び出席状況を考慮して行う。

②評価は当該学期中の成果に応じて学期ごとに行う。

③各教科目の担当者は、当該年度で修得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、評価は当該今日科目毎、学年別、学科別に行うことを原則とする。

④評価の基準は、美容科は国家試験の合格基準に準ずる。ビューティビジネス科は資格試験に準ずる。

【期末試験】

学期末試験は学校の年間計画に従い、年3回、学期ごとに行う。

①再試験になる基準は美容科60点未満、ビューティビジネス科70点未満とする。

②期末試験不合格者は補習を受けてから再試験を受ける。

③1年次3学期再々試験不合格者は留年、2年次3学期再々試験不合格者は卒業延期とする。

【評価の表示】

①履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。

②成績通知表には5段階方式で評価する。

100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
5段階評定	5	4	3	2	1

③履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。

④全科目の合計点の平均点での順位を公表する。

・卒業の認定に関する方針や、生徒の習得単位を踏まえ、卒業を認定している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.nrbg.ac.jp/activity.html>

高等

教育修学支援情報公開

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○卒業の認定に関する基本方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>以下の能力を身に付け、所定の授業時間に履修した生徒について卒業の認定とする。</p> <p>①関連法規、関係省令に基づいた必要な知識、及び技能を習得したもの。</p> <p>②社会人としての教養と近代的な感覚を会得し地域保健衛生の担い手となる力を有したもの。</p> <p>(卒業の要件)</p> <p>卒業の認定は、履修簿・学習成績簿・出欠席の状況などの記録に基づいて認定会議を行い、校長がこれを認定する。</p> <p>※学科及び実技試験において、美容科は国家試験の合格基準に準ずる。ビューティビジネス科は資格試験合格基準に準ずる。</p> <p>(卒業の認定手順)</p> <p>1、認定基準を満たしているかを判断基準とし、諸条件を踏まえて適切に判断する。</p> <p>2、ビューティビジネス科の卒業見込みの関しては1学期に認定会議を開き決定する。</p> <p>3、美容科の卒業見込みに関しては、2学期に認定会議を開き決定する。</p> <p>4、進級・卒表に関しては、3学期末に認定会議を開き決定する。</p> <p>卒業に認定に関する方針や生徒の習得単位数を踏まえ卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等 教育修学支援情報公開</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野理容美容専門学校
設置者名	学校法人長野県理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開
収支計算書又は損益計算書	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開
財産目録	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開
事業報告書	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開
監事による監査報告（書）	https://www.nrbg.ac.jp/activity.html # 高等教育修学支援情報公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040時間	690時間		1350時間		
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		191人	0人	9人	13人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 当該年度で修得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、授業計画と授業カリキュラムの作成を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は教科毎、学年別に行い、学期ごとに到達目標に対して評価する。国家試験の合格基準に準じて5段階評定で評価する。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。 全科目の平均点での順位を公表する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則、生徒指導内規で3学期期末成績、欠席・遅刻・早退についての基準、特別指導についての基準を満たしている事。

学修支援等 (概要) 個別相談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、保護者面談。スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
96人 (100%)	0人 (%)	96人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 美容室 美容業界			
(就職指導内容) 面接指導 サロン実習指導 実技試験指導 情報収集のやり方など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 令和2年度美容師国家試験合格率			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
190人	8人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別相談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、保護者面談。スクールカウンセラー		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門課程	ビューティビジネス科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040時間	956時間		1084時間		
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員数	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	29人	0人	3人	8人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 当該年度で修得すべき学習内容の到達目標を予め申し合わせ、授業計画と授業カリキュラムの作成を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は教科毎、学年別に行い、学期ごとに到達目標に対して評価する。国家試験の合格基準に準じて5段階評定で評価する。履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出する。全科目の平均点での順位を公表する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則、生徒指導内規で3学期期末成績、欠席・遅刻・早退についての基準、特別指導についての基準を満たしている事。
学修支援等
（概要） 個別相談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、保護者面談。スクールカウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 （100%）	0人 （ %）	9人 （100%）	人 （ %）

(主な就職、業界等) エステティックサロン 美容業界
(就職指導内容) 面接指導 サロン実習指導 実技試験指導 情報収集のやり方など
(主な学修成果(資格・検定等)) 令和2年度エステティック協会及びエステティック業協会認定上級エスティシャンどちらも合格率100%
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	3人	13.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別相談、個別指導の対応。個別担任指導。保護者相談、保護者面談。スクールカウンセラー		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
美容科	80,000円	456,000円	463,000円	
ビューティビジネス科	60,000円	420,000円	596,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nrbg.ac.jp/disclosure.html 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」学校情報公開</p>											
<p>学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）</p> <p>「学校評価実施規定に基づく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的…学校が提出した自己評価報告書、参照資料、意見交換の実施に基づき評価を行い、評価書原案を作成する。 ・委員会選出基準…次の区分から校長が委嘱→関連業界等関係者（評価対象校の教育に関連する有識者） ・委員会構成…関連業界等関係者2名 ・委員会評価業務内容…①書面調査・確認 ②ヒアリング・意見交換 ③施設確認 ④評価案の作成 ・評価項目…教育活動、学修成果、学生支援、教育環境などの評価を行う。 ・活用方法…学校関係者評価委員会からの提案を踏まえ、各評価項目について改善することで学校の質の向上を図る。 											
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容室経営</td> <td>R3. 4. 1～R5. 3. 31</td> <td>専門分野に関する関係者</td> </tr> <tr> <td>美容商マネージャー</td> <td>R3. 4. 1～R5. 3. 31</td> <td>専門分野に関する関係者</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	美容室経営	R3. 4. 1～R5. 3. 31	専門分野に関する関係者	美容商マネージャー	R3. 4. 1～R5. 3. 31	専門分野に関する関係者
所属	任期	種別									
美容室経営	R3. 4. 1～R5. 3. 31	専門分野に関する関係者									
美容商マネージャー	R3. 4. 1～R5. 3. 31	専門分野に関する関係者									
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nrbg.ac.jp/disclosure.html 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」学校情報公開</p>											
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>											

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレスまたは刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nrbg.ac.jp</p>
--